

短期予報解説資料 2026年10月28日03時40分発表

気象庁

1. 実況上の着目点

- ① 前線を伴う低気圧が日本のはるか東を北東進しており、前線が小笠原近海へのびている。
- ② 500hPa 5520m付近に、 -30°C 以下の寒気を伴ったトラフが北日本を通過中。対応する低気圧が宗谷海峡付近を東進。北日本を中心に非常に強い風が吹き、日本海側では波が高くしけている所がある。
- ③ 500hPa 5400m付近、5700m付近のトラフも1項②のトラフと位相を合わせて日本付近を通過しており、衛星水蒸気画像では本州付近は暗域が明瞭。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項②のトラフに対応する低気圧は急速に発達しながら28日朝には千島近海へ達する。このトラフは28日日中寒冷渦となり、1項②の低気圧はこの寒冷渦直下となる。また、1項③の500hPa 5700m付近のトラフに対応して、日本のはるか東の低気圧は発達しながら北東進し28日夜には千島の東へ進む。日本付近はこれらの低気圧や前線と大陸の高気圧により西高東低の気圧配置となる。
- ② 2項①の西高東低の気圧配置の影響で、気圧の傾きが大きくなり、非常に強い風や強い風が吹き、波が高くなりしける所がある。北日本では28日は暴風や高波に警戒し、東北地方～北陸地方の日本海側では高波に注意・警戒。また、全国的に、強風や高波に注意。
- ③ 北海道地方では28日は、500hPaで平年より 10°C 以上低い -36°C 以下、850hPaで平年より 10°C 前後低い -9°C 以下の寒気が流入する。北日本を中心にこの時期としては強い寒気が流れ込むため、大気の状態が非常に不安定となり雷を伴う降水や降雪が強まり、大雪となる所がある。また、28日朝にかけて、日本海北部に形成されるシアーラインの影響で、北海道地方では局地的に風や降水が強まることに留意。北海道地方では28日は大雪に注意・警戒し、北日本と北陸地方では28日は落雷、突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ④ 2項①の高気圧は28日夜には黄海付近に移動し別の高気圧が日本海で顕在化。西高東低の気圧配置は西から緩む。29日は日本海の高気圧は日本の東へ移動し、日本付近は高気圧後面となる。29日夜～30日にかけて、500hPa 5580～5700mの寒気を伴ったトラフが深まりながら日本付近まで南下。また、500hPa 5400m付近のトラフに対応した中国東北区の低気圧との間で日本付近は広く下層暖気移流場となる。2項④の前述のトラフに対応して、日本海と東日本太平洋側でシアーラインが顕在化し、大気の状態が不安定となる。北～西日本では29日～30日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量的予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項〔量的予報等〕

- ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。
- ② 降雪量(06時からの24時間)：北海道 40cm。
- ③ 波浪(明日まで)：北海道 6、東北・北陸 5、伊豆諸島、近畿 4、東海・中国・九州北部・奄美・沖縄 3m。

5. 全般気象解説情報発表の有無 発表の予定はない。